

特集

エコチル調査を 母子保健活動に活かそう

保健師活動に活かす「エコチル調査」 山縣然太郎

全国 10 万組の親子を対象とした追跡調査

エコチル調査の経緯と今後の展開 新田裕史

エコチル調査から読み解く 環境と健康 山崎 新

エコチル調査で変わる母子保健 山縣然太郎

小児科とエコチル調査 目澤秀俊

エコチル調査におけるユニットセンターの活動 小田和早苗

PHOTO

『通いの場』を活用した介護予防とその評価 出雲市の取り組み
下井輝康

連載

数式不要！はめ込み統計学 保健師のための統計これだけ 加藤丈夫

見たい統計 自在に分析！

保健医療福祉計画データウェアハウス 岡本悦司

公衆衛生看護学の体系を事例で学ぶ 池戸啓子、他

ニュースウォーク 白井正夫

編集後記

●今号特集中の「健康寿命の延伸には働き盛りへのアプローチが重要」(p.582)の一文は、40代の私には、日頃の反省とともに響きました。働き盛り世代では、仕事と子育てに追われ、健康は気になりつつも、十分な取り組みができずにいる方が多いのではないかと思います。そのため、啓発だけに留まらず、今特集で紹介された花王の「スマート和食」や大分県の官民一体の取り組みなど、日常の中で手軽に実行できる具体的な工夫や、働き盛り世代が親子で参加できるイベントなどの仕掛けが、身近な地域の単位でもっと増えてほしいと願います。(小林)

●最近、ラーメンで最もスープがよく絡むのは何麺か実験したという記事を読みました。なんと結果、ストレート麺が最もスープを保持したそうです。この記事を見て、これは量的研究と質的研究の違いを説明する良い例えになるんじゃないかということを思いつきました。上の話は、お察しの通り量的研究です。一方、世間の意見を街頭調査すると縮れ麺に軍配が上がり(予想)、理由として「プルプル」した感覚や「汁はね」する印象が聞き取れ、「よく絡む」とは感覚的概念が強いと分かります。これは質的研究です。という説明ですが、どうでしょうか。(長原)

保健師ジャーナル 第75巻7号 2019年7月10日発行(毎月1回10日発行)

発行：株式会社医学書院 代表者 金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2019, Printed in Japan

印刷：株式会社アイワード

1部定価：本体1,500円+税

2019年年間購読料(送料弊社負担) 冊子版：本体14,280円+税、電子版：本体14,280円+税、冊子+電子版：本体17,280円+税

販売・PR部：☎(03)3817-5659 保健師ジャーナル編集室：☎(03)3817-5774 hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当：小林、長原、伊藤

🐦 www.twitter.com/hokenshiJ 📘 www.facebook.com/hokenshiJ (「保健師ジャーナル」で検索)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

📄 JCOPY © 出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「保健師ジャーナル」は株式会社医学書院の登録商標です。